

<未来技術社会実装事業 概要>

AI、IoTや自動運転、ドローン等の未来技術を活用した新しい地方創生を目指し、地方創生の観点から、革新的で先導性と横展開可能性等に優れた提案について、社会実装に向けた関連事業の現地支援体制（地域実装協議会）を構築し、関係府省庁による総合的な支援を行う。

<事業申請の経緯>

H26.10 咲っく南花台プロジェクトスタート

大阪府市医療戦略会議7つの提言の1つである「スマートエイジング・シティ」の実現に向け、郊外型開発団地のモデル地区として南花台が選定

H30.8 「近未来技術等社会実装事業」採択（H30～R2の3カ年事業）

【提案タイトル】

少子高齢化社会における自動運転技術を活用した新たな移動サービスの創出と健康寿命の延伸 ～社会保障費等の抑制による持続的なまちの発展をめざして～

→ 「大阪府・河内長野市近未来技術地域実装協議会」を設置

（参考）R2年度：内閣府事業名称変更により協議会名を変更「大阪府・河内長野市未来技術地域実装協議会」

<事業継続決定>

R2.12 「未来技術社会実装事業」継続決定（R3～R4の2カ年）

H30.11 第一回協議会 会議

H31.2 第二回協議会 会議



地域の課題とニーズを踏まえ、

H31(R1)以降の事業計画を策定

事業計画のポイント

- まずは、手動運転のグリーンスローモビリティを活用した実証実験により、多様なニーズを検証
- まちづくりの視点（咲っく南花台プロジェクトの活動）と一体で検討
- 運転手を含め、地域の住民が中心となって運営する形態を想定
- 自動運転については、グリーンスローモビリティの電磁誘導式による自動運転を想定

**H31.4 環境省「IoT技術等を活用したグリーンスローモビリティの
効果的導入実証事業」応募**

→R1.6 採択決定（H31～R3の3カ年事業）

R1.7 第三回協議会 会議

グリスロによる、AIオンデマンド運行の実証計画の報告・協議

R1.11 第四回協議会 会議

南花台モビリティ「クルクル」の進捗報告・協議

R1.12 南花台モビリティ「クルクル」の運行開始(R1.12.7出発式)

R2.10 第五回協議会 会議

「クルクル」運行データ検証、有償化に向けた取組、自動運転スケジュールの報告・協議